

令和6年度（2024年度）第2回長房中学校区地域づくり推進会議
及び長房の未来をつくる会 議事概要

日時	令和6年（2024年）7月20日（土）9:30～12:00
場所	長房小学校 1階 プレイルーム
出席者	参加者：宇田、高坂、清水、鈴木、塚本、中嶋、西山、本堂、野副、森、森本、山陰、山中、渡辺、大谷、田名網、石塚、村上、カシム・ベレカ、秦、小塚、田島、太田、富加津、米山 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 シルバーふらっと相談室長房：光富 社会福祉協議会：久住 長房小学校校長：川村 船田小学校校長：野場 長房中学校校長：上田 市地域づくり担当：伊東、松崎、松下、和田
配布資料	・資料1 第4回及び第5回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会概要 ・資料2 八王子市地域づくり推進事業補助金交付要綱 ・資料2-1 八王子市地域づくり推進事業補助金 交付申請について ・資料3 意見交換「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていけるためには」 ・資料3-1 推進会議で行う意見交換のテーマの検討

1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

2 事務局からの報告

第4回及び第5回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会について

資料1「第4回及び第5回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会概要」をもとに報告を行った。

<説明内容>

- ・ 4月26日の第4回懇談会では、これまでに設置した既存4地区の推進会議で検証してきた結果見えてきた現状を示した。
- ・ 全市的な展開を考えると推進会議に対する現在の市の関わり方を再考しなければ難しいことや、現状のやり方では活動のための団体の設立が必要となり組織形態が煩雑になってしまうことなどから、しくみを変えていくことが必要。
- ・ 具体的なしくみは決まっておらず、基本方針改定の中で描いていく予定。
- ・ 目指すべきしくみとしては、懇談会の中で議論された「地域づくりの3原則」を踏まえた地域主導の取組に対し、市が必要なときに参画し必要な協力をするしくみが必要と考えている。
- ・ 6月19日の第5回懇談会では、基本的な考え方として、推進会議を設置している既存4地区も新しい方針に基づく取組みへの移行を目指していくことを確認した。
- ・ 地域づくりの目的や定義について改めて整理し、資料に記載した。

- ・ 推進会議の役割・機能としては、懇談会でも意見のあった「ゆるやかなつながり、負担感のない形」を踏まえて3つに内容をまとめた。
- ・ 推進会議における行政の役割・職員の地域への関わりについては、地域における協働に一員として「フラットな立場」での参加を目指すこととした。
- ・ 地域づくりの推進に向けた基本的な考え方として、地域づくりの3原則に基づく、地域主体の地域づくりに取り組むことや地域主体の会議体に市が参加し、必要な時に必要な支援を行うことで「やらされている感」から「やってみよう感」に変わる取組に変えていけるよう取りまとめている。
- ・ 対象圏域については、最小単位は中学校区としてとしているが、柔軟な形で行えるようにした。
- ・ 長房を含め、既に推進会議を立ち上げている地域については、それぞれの地域の状況を踏まえ、皆さんとお話をしながら、徐々に移行を進めていきたい。

<野副氏から報告>

- ・ これまで、5回行ってきた懇談会での議論の内容を含め、シンプルな資料としてわかりやすくまとめてあり、良かったと思っている。
- ・ 今後の地域づくりは、地域主体の取組にし、現実に沿った形でやっていかないと継続しないという部分については、薄々感じていたところではある。ただ、そのことは、これまで3年間かけて取組を進めてきたからこそよかった結果として前向きに捉えている。

<質問・意見等>

- ・ これまでも言ってきたことだが、長房地域は、長房中・陵南中・横山中が含まれた地域なので、対象圏域については、改めて地域が分断されているような感じがする。
⇒（市）対象圏域については、柔軟性を持たせられるよう最小単位を中学校区とするという形でまとめた。また、今年度立ち上げた加住中学校区については、みつ台や馬場谷戸など、中学校区外の町会・自治会にも声掛けを行った。このような形で、対象圏域の話については、地域の方々とも話し合いながら、地域の実情に合わせて柔軟な形で行っていきたいと思っている。
- ・ 公共施設や学校再編が喫緊の課題としてある中で、新しい方針では、敢えて項目立てしないというのはどういう意図か。
⇒（市）長房でも、学校を含めた公共施設の再編が喫緊の課題であることは承知している。公共施設や学校再編の議論を推進会議の立ち上げの目的とするのではなく、地域課題の一つとして、取り扱っていくということ。今後は、教育委員会とも調整しながら、推進会議でも話をしていく予定。

八王子市地域づくり推進事業補助金について

資料2「八王子市地域づくり推進事業補助金交付要綱」及び資料2-1「八王子市地域づくり推進事業補助金 交付について」を配布し、説明を行った。

<説明内容>

- ・ 本補助金の趣旨は、推進計画に定めた「地域の将来ビジョン」の実現に向けた地域づくり

団体の活動に対して補助金を交付し、団体の自立的・主体的な活動を支援するもの。

- ・ 対象事業は、アクションプランの取組など、地域の課題解決等に向けて実施する「地域づくり推進事業」であり、公共性、公益性のある取組。
- ・ 対象経費は、事業の実施に必要な経費として幅広く対象としている。対象とならない経費の例を手引きに掲載しているなので、注意していただきたい。
- ・ 補助額は、上限 30 万円。補助率は、10 分の 10 としている。
- ・ 地域づくり推進事業のモデル試行の一環として交付するものであり、補助金による効果などを検証し、来年度以降の実施について見直しを行う。
- ・ 活動の中で、事業収入や協賛金、協力金など、補助金ありきではない資金調達の方法を模索して継続的な団体の運営ができるように努めていただきたい。
- ・ 事業の目的や内容に応じて、地域の他の団体の補助金等の活用も積極的に検討いただきたい。

<質問・意見等>

- ・ なにを基準に 30 万円という金額になっているのか
⇒（市）地域にある他の団体に出ている補助金や昨年度、モデル地区である長房や川口で実施した取組にかかった費用を参考に定めた金額。

3 取組の報告と情報共有

キャリア教育の取組について

- ・ 6 月 15 日に長房小学校に八王子消防署浅川出張所の救命救急士に来ていただいて「命の大切さ」というテーマで、講義と実演を行っていただいた。
- ・ 講義では、普段の仕事内容についての話や仕事をするうえで必要な資格の話をしていただいた。
- ・ 6 年生は、心臓マッサージの方法や AED の使用方法等について、実演を交えながら教えていただき、体験することができた。
- ・ 子どもたちからは、「経験できてよかった」といった感想や「将来、救命救急士になりたい」という感想があった。
- ・ 2・3 学期についても学校と連携しながら実施していきたい。

長房小学校 川村校長先生からの報告

- ・ 昨年度から本校では、キャリア教育の取組をしていただいている。
- ・ 今年度は総合的な学習の時間として、3 年生以上の学年では「地域のことを学ぶ」というカリキュラムを設けている。特に 6 年生では、地域の大人から職業について学ぶための「キャリア教育」を行っている。
- ・ 今回の救命救急士の講義では、いざという時に何が出来るとかということを経験させてもらえたことが大変良かったと思っている。

子どもとあそびの会の取組について

- ・ 7月7日にコピオ長房のコピテラスで「子どもあそびの会」として工作教室を実施した。
- ・ 七夕に因んだ工作教室でステッキを作成した。参加者は3歳から9歳の子どもたち9名に参加いただいた。
- ・ 集合時間を設けず、気兼ねなく立ち寄れるような形で実施したため、多くの方に参加いただけた点がよかったと思っている。
- ・ 課題としては、教える側の人員が不足点や子どもたちが作業している間に保護者の方々が待っている形になってしまった点がもったいないと感じた。子どもの保護者もつながりができるような取組としていきたいと思っている。

市民塾について

- ・ 市民塾は、八王子市の事業でNP0法人「八王子市民活動協議会」が委託を受けて運営している。
- ・ 「自分を知る」「八王子を知る」「市民活動を知る」ということを通じて、社会貢献や地域活動の担い手を広げていくことを目的とした事業で、9月に開講し、翌年の2月まで様々な講義を受けていただく内容になっている。
- ・ 実際に地域活動を行っている方の話を伺う機会もあるので、興味のある方は、ぜひ参加していただきたい。

4 意見交換

資料3「意見交換（テーマ）地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」及び資料3-1「推進会議で行う意見交換のテーマの検討」をもとに説明を行った。

- ・ 前は、「地域づくり推進事業の取組を長房地域全体の取組とするためには」というテーマでグループに分かれ話し合いを行い、この取組を周知するための「手段（周知方法）」について意見交換を行った。
- ・ 地域づくり推進事業の取組を地域へ広げていくためには、「手段（周知方法）」も重要だが、同時に「目的（推進会議で議論する内容）」も参加する人にとって有意義なものにしていかなくてはならない。
- ・ 学識経験者からは、「話し合いの『テーマ』をあらかじめ決め、話したい内容や興味がある内容かどうかで参加の是非を決める方法にしてはどうか」というアドバイスもいただいているところ。
- ・ 今後は、話し合いしたい「テーマ」を参加者の皆さんで決めて進めていくことで、有意義な話し合いを行い、参加する人のモチベーション向上や負担感の軽減、やらされ感の軽減につなげていきたい。
- ・ 次回の推進会議では、今後、推進会議の場で「どんなテーマの話がしたいか」「地域で一緒に考えたいことがあるか」「共有したいことはあるか」「他にやってみたい取組があるか」、そのために「どんな人に参加してほしいか」「声掛けはどのように行っていくか」といった内容で意見交換を行っていく。
- ・ 意見等があれば、次回までに資料3-1「推進会議で行う意見交換のテーマの検討」に記載いただき発表いただきたい。

5 長房の未来をつくる会 取組の打合せ等

議事概要については、長房の未来をつくる会で別途作成。

6 閉会

以上